

平成 29 年度

学校法人高水学園
事業計画書

I. 法人の概要

■設置する学校学科の名称および所在地

学 校 名	所 在 地
岩国短期大学	山口県岩国市尾津町二丁目 24 番 18 号
高水高等学校	山口県岩国市尾津町二丁目 24 番 18 号
高水高等学校附属中学校	山口県岩国市尾津町二丁目 24 番 18 号

■設置する学校学科の入学定員と学生生徒数(人)

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
岩国短期大学	幼児教育科	80	78	160	136
高水高等学校	普通科	330	222	1,045	711
附属中学校	普通科	90	36	285	100

平成 28 年 5 月 1 日現在

■役員・評議員・教職員の概要

【役員】

理事長	宮 川 明	監事	池 元 幸 信
理事	寺 嶋 隆	監事	村 元 真 澄
理事	前 田 茂 雄		
理事	森 橋 律 夫		
理事	富 沢 佐 一		
理事	松 原 一 誠		
理事	加 藤 善 美		
理事	館 澄 子		
理事	宮 川 洋		

平成 28 年 10 月 13 日現在

【評議員】

寺嶋 隆	岡本 勝	館 澄子	長尾泰子
前田茂雄	松本泰行	渡辺耕而	玉田和子
宮川 洋	西村 宏	片山秀夫	稗本哲也
宮本 剛	松原一誠	伊達明彦	那須理恵
森橋律夫	富沢佐一	吉岡賢一	中村洋子

平成 28 年 10 月 13 日現在

【教職員の概要（専任）】

学校名	教員数	職員数	合計
岩国短期大学	11	7	18
高水高等学校	45	6	57
附属中学校	13	1	14

平成 28 年 5 月 1 日現在

Ⅱ. 事業の概要

■ 基本方針

毛利藩の儒学者宮川視明によって創設された本学園は、学園発祥の地、旧熊毛郡高水村で培われた教育の伝統を受け継ぎ、絶えざる人格の練成と教育実践に邁進する。

少子化等地域社会の厳しい環境下にあっても入学者数の増加をもたらすべく、教育改革及び入試改革を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、財政改革を推し進める。

■【法人全体】

学園創立 120 周年記念式典の準備に取り掛かる。

■【短期大学】

1. 建学の精神に基づき、地域に信頼される特色ある短期大学づくり

本学の建学の精神は、「楽学」である。この建学の精神たる「楽学」を踏まえて、次のことを教育理念としている。

◎特性の陶冶を重んじ、人間性を練り鍛え、豊かな人間形成を図る。

◎地域に生きて働く人材を養成する。

この教育理念をもとに、本学学則第 2 条において「国家社会の有為な形成者にふさわしい一般教養と、専門的職業に重点を置く高度な知性とを修得させ、国家の福祉と人類文化の創造的発展に貢献することのできる心身ともに健全な人物を育成することを目的とする」と規定し、事業展開を図っている。

これらの理念を教育実践として展開していくために本学では保育のスペシャリストの養成をすることを念頭に、学生にその自覚と意識を常に覚醒させるべく具体的な教学活動を実施している。

基礎科目においては、高等教育における基礎的学力を保証するために、基礎ゼミナールを開設し、教養科目においては幼児教育を包括的に支える講義内容を提供する。そして、これらの教養教育を通じて正しい人生観と開かれた社会性を持った職業人として生きる誇りと自信を与えることを教育の目標とする。

また教科、教職に関する専門科目においては現代の幼児教育理論の成果を踏まえて、実践的な保育技術に言及する講義内容を教示し、その具体的な成果を「平成 29 年度基本方針と取り組み」として構想し、実施するものである。

今年度の最優先課題は、幼児教育科単科の短大として山口県東部地区における地域の活性化に貢献する事業展開をしていくことである。この事業展開の中で地域の本学における認知度を向上させ、本学への進学率を高めることと、地元保育関係者の本学への信頼に基づく就職などの協力体制をさらに強化していくことを目指す。さらに本学が地域の保育研修の中心的存在となるべく、岩国子育て支援ネットワークの事業展開を確実にしていく。

時代の変化は厳しいものがあるが、本学は単科の短期大学として他に類を見ない事業展開を通じて、18 歳人口の減少が続く少子化社会の中で、その真価を発揮して地域に根付き、地域に生きて働く人材を養成していくことを信条とする。

2. 平成 29 年度基本方針と取り組み

(1) 保育実践力の養成

- ①系統的な取り組みによる保育実践力の養成
 - ・「お店屋さんごっこ(1年)」-「大学祭・キッズルーム(1年)」
-「Iwatan 親子フェスタ(1・2年合同)」の系統的な実施
- ②「音・美・体」の教育の充実
 - ・ウィンター・コンサート、卒業記念コンサート等の実施
 - ・南岩国駅への学生作品「壁面装飾 12 カ月」の掲示
 - ・現場に即した幼児体育の模擬授業や 1・2 年生合同運動会の実施
- ③「クリエイティブ・ムーブメント」による本学独自の教育の推進
- ④教育実習の充実
 - ・模擬保育の実施
 - ・実習事前指導の実施
 - ・自主実習の推奨
- ⑤保育現場力の活用
 - ・ようこそ先輩！保育実践力養成講座（保育所編）
 - ・ようこそ先輩！保育実戦力養成講座（幼稚園・認定こども園編、ようこそ先輩！保育実践力養成講座（施設編）の講座開設
- ⑥現場に役立つ保育実践力の授業
 - ・手遊び歌、パネルシアター、絵本 100 冊読み等の取り組み

(2) 就職支援の充実

- ①就職支援システムの推進
 - ・「入学前プログラム」-「新入生合宿研修」-「基礎ゼミナール」-
「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」-「フォローアップ・セミナー」の一貫した就職支援の実施
 - ・現職園長による面接指導講座の開設
- ②就職ガイダンス、東部校訓練生の受け入れと就職ガイダンスの実施
- ③就職面談、面接指導の実施
- ④試験対策講座、公務員試験対策講座開設
- ⑤卒業生就職先アンケートの実施による教育・就職支援の改善
- ⑥県内就職率向上のための取り組み
 - ・「就職ナビ in いわたん」の実施と拡充

(3) 地域貢献

- ①岩国子育て支援ネットワーク（Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー）の事業の充実
 - ・第 7 回「Iwatan 親子フェスタ」の開催
 - ・「Iwatan 親子広場」の開催（年間 6 回）
 - ・保育者対象研修会の開催（年間 2 回）
- ②岩国市、岩国商工会議所との連携推進
- ③学生ボランティア活動の推奨
 - ・「学生ボランティア活動記録」の記入
 - ・年間最低 1 回のボランティア活動従事の義務化
 - ・宮川澳男賞、地域貢献奨励賞の表彰

- ④幼稚園免許状更新講習の実施
- ⑤生涯学習公開講座の開催（年2回）
 - ・「保育者のための初級英語講座」の新設

（4）入学定員確保

- ①魅力あるオープン・キャンパスの実施
 - ・年間5回のオープン・キャンパスの実施
 - ・表現力を生かした学生による学科紹介の取り組み
- ②大竹高等学校、高森高等学校高大連携の協定締結
- ③本学独自の奨学金制度の拡充
 - ・高大連携協定校に対する奨学金制度の新設
 - ・指定校推薦校に対する奨学金制度の新設
 - ・離島及び遠隔地出身学生に対する生活支援奨学金制度の新設
- ④中・高大連携授業の推進
 - ・「保育者をめざす高校生のための高大連携授業プログラム」のパンフレットの配布と実施
 - ・中大連携校の開拓と実施

（5）教職員の資質向上

- ①FD研修でのアクティブ・ラーニングによる授業改善等
- ②SD研修の充実
- ③教職員合同研修会の実施（財務状況説明会、ハラスメント研修会 等）

3. 平成 29 年度の具体的な事業計画（短期大学）

月	主な学内行事	学生支援に関する取り組み		地域貢献に関する取り組み	入学定員確保の取り組み
		保育実践力の養成	就職支援		
4	○入学式、保護者懇談会 ○東部校訓練生入校式 ○非常勤講師会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*新入生合宿研修 *就職面談・面接指導 *就職ガイダンス	*アカデミー実行委員会	*指定校挨拶回り *大竹高等学校、高森高等学校 高大連携の協定締結
5	○学生交流会 ○後援会理事会 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*実習前学習 *保育の心を育む縦割り教育 *絵本読み聞かせ指導 *絵本 100 冊読みの実施 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*就職面談・面接指導 *就職開拓訪問 *2 年生就職試験対策講座	*Iwatan 親子広場① *生涯学習公開講座 *岩国市との連携推進会議 *岩国商工会議所との包括的連携協定締結	*高校訪問 *高大連携授業
6	○保護者懇談会 ○後援会総会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*ようこそ先輩！保育実践力養成講座（保育所編） *教育実習Ⅱ *保育所見学実習 *近隣幼稚園児との芋の苗植え *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*フォローアップ・セミナー *就職面談・面接指導	*Iwatan 親子広場② *生涯学習公開講座	*高校訪問 *高大連携授業 *中大連携授業 *オープン・キャンパス
7	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*2 年生模擬保育全体研修会 *近隣幼稚園児を招いての「お店やさんごっこ」 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*就職面談・面接指導 *現職園長による面接指導講座	*Iwatan 親子広場③ *生涯学習公開講座	*高校訪問 *高大連携授業 *オープン・キャンパス
8	○免許状更新講習 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*保育実習Ⅰ *施設見学実習 *学生自主実習 ※SD、FD 研修 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*就職ナビ in いわたん *1 年生就職試験対策講座 *就職面談・面接指導	*保育者対象研修会 *幼稚園教諭免許状更新講習	*オープン・キャンパス
9	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*保育実習Ⅱ・Ⅲ *障害者レクリエーション研修会 *学生自主実習 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*就職面談・面接指導 *就職ガイダンス（山口県若者就職支援センター）	*Iwatan 親子広場④ *アカデミー実行委員会 *学生ボランティア時数の集計（前期）	*高校訪問 *高大連携授業 *オープン・キャンパス
10	○クリーン・プロジェクト ○火災等防災訓練 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*ようこそ先輩！保育実践力養成講座（幼稚園・認定こども編） *実習前学習 *教育実習Ⅲ *南岩国駅学生作品「壁面」の展示 *「幼児体育」授業における 1・2 年生模擬運動会	*就職面談・面接指導	*Iwatan 親子広場⑤ *生涯学習公開講座	*高校訪問 *高大連携授業
11	○大学祭「清流祭」 ○親守詩大会 ○後援会理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*大学祭キッズルーム *近隣幼稚園児との芋の収穫 *保育の心を育む縦割り教育 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*就職面談・面接指導	*Iwatan 親子広場⑥ *生涯学習公開講座	*高大連携授業
12	○保護者懇談会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*教育実習Ⅰ *中四国保育学生研究大会 *ウィンター・コンサート *1・2 年生合同模擬保育 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*就職面談・面接指導 *卒業生就職先アンケート *1 年生公務員試験対策講座	*生涯学習公開講座	*高大連携授業
1	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	*ようこそ先輩！保育実践力養成講座（施設編） *保育・教職実践演習研究発表会 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示	*入学前 P *就職面談・面接指導 *高水生特別入学前 P	*保育者対象研修会 *学生ボランティア時数の集計（前期）	*高大連携授業

2	<ul style="list-style-type: none"> ○研究紀要の発行 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会 	<ul style="list-style-type: none"> *施設実習 *第7回 Iwatan親子フェスタ *学生自主実習 ※SD、FD 研修 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示 	<ul style="list-style-type: none"> *1 年生就職試験対策講座 *入学前 P *就職面談・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> *第7回 Iwatan 親子フェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *中大連携授業
3	<ul style="list-style-type: none"> ○学位記授与式 ○東部校訓練生退校式 ○同窓会入会式 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会 ○事業計画の総括と改善 ○自己点検報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> *卒業記念コンサート *学生自主実習 ※SD、FD 研修 *南岩国駅学生作品「壁面」の展示 	<ul style="list-style-type: none"> *入学前 P *就職面談・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> *第5回宮川渙男賞、地域貢献奨励賞表彰 *アカデミー実行委員会 *アカデミー報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *オープン・キャンパス

■【高等学校】

1. 建学の精神に基づく、地域から信頼され魅力ある高校づくり

先行き不透明で目まぐるしく変化するこれからの社会で生きていくためには、目の前にある問題を自分の課題として捉え、仲間と協働しながらその課題を解決していく、新たな価値を創造する資質・能力を養成していかねばならない。

本校の建学の精神である『徳性の陶冶』、教育による人格の練成はいつの時代においても不変であり、予測が難しく不透明なこの時代においてこそ、建学の精神を継承し、地域社会や国際社会に貢献できる人材を養成することが求められている。

建学の理念の下、未来に向けて、明るく、元気に、素直に、挑戦し続ける生徒を育成する。具体的には高い志を持ち、仲間と共にチャレンジしながら生まれ育った地域に誇りと愛着を持つ、ローカルかつグローバルな視点で社会に参画する生徒を育成する。そのためには知・徳・体、調和のとれた真の生きる力を養成し、地域社会から愛され、信頼される学校にする。

今年度、普通科においては、自己肯定感と自己有用感を持たせ、規範意識を高めるために、教職員の研修講座を充実させ、担任と学年団とが連携を深めて一人ひとりの生徒に寄り添った学級経営を目指す。また、基礎学力をもうワンランクアップさせるために、学習内容、指導方法と評価について見直し、また外部教育機関と連携しながら生徒の学習意欲の喚起と家庭学習の定着を図る。

六年制普通科については、一人ひとりの目標を実現させるためにもうワンランク上を目指した進路指導を目指す。

山口県においても少子化が急激に進行し厳しい社会状況であるが、本校の120年の伝統を身に付けた真正の人物を養成し、地域に貢献していく。

2. 平成29年度基本方針・取り組み

(1) 基礎学力の保障

①教職員の資質向上

- ・アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた研究授業を開催
- ・定期的な教職員研修会の実施
- ・外部研修会への積極的な参加

②シラバス（学習内容、指導法、評価等）の改善

③外部模試の積極的な活用

④放課後自習教室の充実

(2) 人間性の保障

①学校行事の充実

- ・運動会、楽学祭、修学旅行の改善
- ・普通科2年生インターンシップ

②ユネスコスクールとしての推進

- ・全日本高校模擬国連大会への参加
- ・岩国ユネスコ協会との連携
- ・国際ソロプチミスト文化講演会への参加

③部活動の活性化

- ・1年生への部活紹介と参加促進

(3) 進路の保障

①進学：外部模試の活用

- ・中3～高3 進研・全統・駿台模試の実施
- ・模試検討会の開催 年3回

②就職：就職模試、就職ガイダンス

③進路研修会の充実

- ・保護者対象：各学年 年2回 生徒対象：各学年 年2回

④キャリア教育講演会実施 年2回

(4) 地域貢献

①定期演奏会の開催

- ・吹奏楽定期演奏会 ・長唄三味線発表会

②ESD パスポート（ボランティア活動）の推奨

③挨拶運動の推進

- ・各学期南岩国駅前で JR 職員と実施

④安全交通指導

- ・毎日、教員と交通委員とが学校前の3か所の交差点で実施

(5) 入学定員確保

①中学生の興味・関心を高めるオープンスクールの実施

- ・第1回 8月初旬 内容 ①在校生による学校紹介 ②クラブ見学 ③クラブ体験
- ・第2回 11月初旬 内容 ①入試対策講義 ②模擬授業 ③クラブ体験

②定期的中学校訪問

- ・4地区への訪問（旧市内、玖西、柳井以西、広島西地区）へ各2名
- 第1回 6月中旬 今年度入試の報告、卒業生・在校生の状況
- 第2回 12月初旬 次年度入試について、3年生の進路状況

③中学校への進路説明会の充実

- ・5月末～7月初旬、岩国・和木地区・大島地区各中学校訪問

④部活動奨学生の拡充

- ・広島西部地区・柳井、田布施、平生地区・周南地区への声掛け

3. 主な事業計画（高等学校）

月	主な校内行事	生徒支援に関する取り組み		地域貢献に関する取り組み	入学定員確保の取り組み
		進学支援	就職支援		
4	○始業式・入学式 ○開校記念日・記念講演会 ○新入生オリエンテーション ○新入生親睦遠足 ○追試験	*1年進路研修会 *3年進学講話会 *3年保護者大学進学説明会	*個別面談 *事業所訪問	*安全交通指導 *ESDパスポートの活用	
5	○1学期中間考査 ○教職員定期健康診断 ○PTA総会	*1年進路研修会 *保護者進路説明会	*昨年度求人情況文書配布	*吹奏楽定期演奏会 *国際ソロプチミスト文化講演会	*中学校訪問 *高大連携授業
6	○教育実習 ○授業参観日 ○第1回楽学テスト ○生徒総会	*1・2年保護者進路説明会	*1・2年保護者進路説明会	*挨拶運動	*オープンスクール *中学校進路説明会
7	○1学期期末考査 ○クラスマッチ ○保護者会 ○終業式	*2年進路説明会 *調査書作成委員会 *前期進学講座	*求人閲覧指導 *写真撮影 *応募前職場見学 *第1回就職ガイダンス	*地域ボランティア活動	*中学校進路説明会
8	○登校日 ○後期進学講座 ○勉強合宿 ○始業式 ○第2回楽学テスト	*後期進学講座 *実力テスト *推薦委員会	*第2回就職ガイダンス *就職面接	*長唄三味線部定期演奏会	*オープンスクール
9	○運動会 ○楽学祭 ○就職試験 ○F科2年修学旅行	*模試検討会 *センター出願説明会 *F科1年進路研修	*未内定者の個別指導		*入試説明会
10	○2学期中間考査 ○中・六講演会 ○S科1年修学旅行	*面接・小論指導 *指定校推薦委員会	*2次募集求人受理	*防災・減災地域リーダーパワーアップ講座	
11	○授業参観日 ○F科2年インターンシップ	*2年保護者大学説明会	*2年保護者就職説明会	*挨拶運動	*オープンスクール
12	○2学期期末考査 ○卒業考査 ○クラスマッチ ○保護者会 ○終業式 ○S科2年ウインタースクール	*模試検討会	*年賀状発送	*日米交流イベント通津国際交流村参加	*中学校訪問
1	○始業式 ○第3回楽学テスト ○F科3年卒業考査 ○3年終業式 ○入学試験	*センター試験激励会 *出願検討会	*前年度就職生徒の勤務状況調査 *内定赴任日調査	*防災・減災地域リーダーパワーアップ講座	*高大連携授業
2	○3年再試験・追試験 ○中六合同発表会	*国公立個別指導	*内定者赴任指示	*挨拶運動	*中学校訪問
3	○卒業式 ○学年末考査 ○終業式 ○入学説明会	*模試検討会 *卒業生講話会	*前年度就職生徒の勤務状況報告		*高校訪問 *オープン・キャンパス

■【付属中学校】

1. 建学の精神に基づく、「21 世紀型学力」の養成をめざす特色ある学校づくり

グローバル化の波が国の枠組みを取り払い、経済システムや人事の流れを根本的に変えてしまった。それはいくつもの支流となって教育の世界に流れ込み、教育活動そのものに大きな影響力を及ぼし始めている。グローバル化によってもたらされる世界は、言語の違いや文化のギャップを埋めながら、日本に限らずどの国もそしてどんな人も経済的な成功を収めるために躍起となっている世界である。そのような世界にあって、リーダーシップを発揮し、互いの利益を調整し合い、苦境に立たされても再び立ち上がる、そのような力の養成を私たちは日本の教育に求められている。

また一方では、少子高齢化の波が日本を飲み込みかけている。2050 年、日本の人口は 8500 万人まで減少するとされる予想データもある。なんと人口の 15%が消える。これは現在の九州と四国の総人口に匹敵する数を意味している。労働人口はどうなるのか。とても現在の産業構造を維持できるとは思われない。地域社会は今も忍び寄る限界集落の陰に脅えながら、地域の新しい生きがいの創造、生き方と生活自体の見直しに迫られ、日本全国で数多くの模索が始められている。さらに 3.11 東日本大震災を機に一挙に都市から地域(田舎)への I ターンが加速した。彼らが蓄積するローカル化の知恵とノウハウが未来の日本の姿を暗示する。

こうして、グローバル化もローカル化も 21 世紀の必然的な流れとなるが、知識や技能の習得を中心にした明治以来の学校教育の発想では、21 世紀を生き抜き活躍する生徒を育てることは難しい。「21 世紀型学力」と言われるような、習得した基礎的な知識・技能をもとに自ら課題を発見し、その解決に主体的・協同的に取り組み、学びの成果を表現し、さらに実践に活かせる力が必要である。その力とは、別の言い方をすれば、グローバル化とローカル化に対応できる力である。

本校は、以上のような社会認識に立って、建学の精神である『徳性の陶冶』による人格の練成を旗印に、地域社会や国際社会で貢献できる人材を養成する。また、教育現場においては、学びの精神『楽学』による仲間づくりを心掛け、コミュニケーション能力やマネジメント能力が自然と身につけられる学校を目指す。

2. 平成 29 年度基本方針と取り組み

(1) 学力保障

①教職員の資質向上

- ・ 隔月に研究授業を開催 (ICT 機器を活用したアクティブ・ラーニング型授業の研究)
- ・ 定期的に教職員研修会を実施
- ・ 外部研修会への積極的な参加

②シラバス (学習内容、指導法、評価等) の改善 (ルーブリック評価導入を視野に)

- ##### ③外部模試の活用 (学力の現状を把握するための客観的な物差し) と 模試検討会の開催年 2 回

(2) 人格保障

①学校行事と学年行事の充実

- ・ 運動会、楽学祭、中六合同発表会を生徒主導で運営
- ・ 1 年：高水訪問

- ・ 2年：郷土学習
- ・ 3年：平和学習
- ②ユネスコスクール高水の推進
 - ・ 地域貢献としてのボランティア学習
 - ・ 岩国ユネスコ協会との連携
 - ・ 国際理解と国際協力のための作文コンクール等への参加
- ③部活動の活性化
 - ・ 短時間でメリハリをつけ、効果的に技術を向上させる

(3) 進路保障

- ①進路ガイダンス（進路サポート）を通じて「職業と仕事」の理解を深める
- ②外部模試による客観的な学力把握
 - ・ 学力推移調査：春秋年2回 全員
 - ・ アドバンスト：冬年1回 2年3年の成績上位者を中心に希望者
 - ・ 高1進研模試：夏年1回 3年の成績上位者を中心に希望者
- ③楽学テストの実施 夏秋冬年3回 全学年対象
 - ・ 大学受験に必要な基礎知識・技能の全員習得

(4) 地域貢献

- ①ESD パスポート（ボランティア活動）の推奨
- ②生徒会による挨拶運動の推進
- ③愛宕地区社会福祉協議会との連携による地域清掃の実施
- ④小中連携授業（年3回）

(5) 入学定員確保

- ①小学生の興味・関心を高めるオープンスクールの実施
 - ・ 第1回6月初旬 i 在校生による学校紹介 ii クラブ見学と体験 iii 授業体験 iv アトラクション
 - ・ 第2回7月中旬 i 在校生の授業見学 ii 校長による学校紹介
 - ・ 第3回8月初旬 i 在校生による学校紹介 ii クラブ見学と体験 iii 授業体験 iv アトラクション
- ②小学校訪問
 - ・ 山口県下松地区～広島県廿日市地区内の小学校約100校を校長が訪問し、相手校校長と情報交換
 - ・ 第1回5月中旬 オープンスクールの紹介と出身生徒の現状報告
 - ・ 第2回8月下旬 入試説明会の紹介と次年度入試について、卒業生の進路状況
- ③学習塾訪問と情報交換会の開催
 - ・ 第1回4月中旬 オープンスクールの紹介と卒業生の進路、学校改革の現状、出身生徒の現状報告
 - ・ 第2回9月上旬 入試説明会の紹介と次年度入試について、近況報告
 - ・ 第3回12月下旬 地域教育研究会の開催

3. 平成 29 年度の具体的な事業計画（付属中学校）

月	主な校内行事	生徒支援に関する 取り組み	地域貢献に関する 取り組み	入学定員確保の 取り組み
4	○始業式・入学式 ○開校記念日・記念講演会 ○1年オリエンテーション ○1年スプリングセミナー （高水訪問）	*進路サポート開始 *3年全国学力学習状況 調査 *学力推移調査	*ESD パスポートの活用 *地域ボランティア活動	*入学案内印刷上がり *学習塾訪問 *オープンスクール対策打合 せ会／チラシ上がり
5	○一学期中間考査 ○PTA 総会 ○2年史跡巡り		*小中連携授業	*小学校訪問
6	○教育実習 ○授業参観日 ○3年平和学習	○第1回楽学テスト ○生活実態調査	*挨拶運動	*第1回オープンスクール
7	○一学期期末考査 ○クラスマッチ ○保護者会 ○終業式	○3年進研模試	*地域ボランティア活動	*第2回オープンスクール
8	○登校日 ○2年サマーセミナー ○始業式	○第2回楽学テスト ○国際理解と国際協力の ための作文コンクール等 への参加	*長唄三味線部定期演奏会	*小学校訪問 *第3回オープンスクール *入試説明会対策打合せ会／ チラシ上がり
9	○運動会 ○校内英語暗唱大会 ○楽学祭	*模試検討会	地区社協連携清掃作業	*学習塾訪問
10	○二学期中間考査 ○中六講演会 ○30 km遠足	○学力推移調査	*地域ボランティア活動 *小中連携授業	*第1回入試説明会
11	○3年オータムセミナー ○授業参観日	○生活実態調査	*挨拶運動	*第2回入試説明会
12	○二学期期末考査 ○クラスマッチ ○生徒総会 ○防災訓練 ○保護者会 ○終業式	*模試検討会	*日米交流イベント通津国 際交流村参加	*学習塾と地域教育研究会
1	○始業式 ○中六入試 ○書初め大会 ○百人一首大会	○第3回楽学テスト	*地域ボランティア活動 *小中連携授業	
2	○入学説明会 ○中六合同発表会	○2、3年アドバンステ スト	*挨拶運動	
3	○学年末考査 ○2年14歳新たな誓い ○卒業式 ○終業式	*模試検討会 *3年スタディサポート *進路サポートまとめ	*地域ボランティア活動 *ESD パスポートの表彰	*高校訪問 *オープン・キャンパス

Ⅲ. 主な施設・設備整備事業の概要

- 岩国短期大学 1 号館耐震補修工事を実施する。
- 岩国短期大学 3 号館空調機整備を実施する。
- 岩国短期大学 1 号館外壁塗装工事を実施する。
- 岩国短期大学図書館及び、高水高等学校・附属中学校図書館に図書システムを導入することで、教育環境の充実を図る。
- 高水高等学校第 1 校舎の ICT 化に伴う電源確保のための工事を実施する。
- 学園施設整備の補修や修繕、計画を立案し、実施に向けて計画書を作成する。

IV 平成 29 年度予算編成の概要

資金収支予算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減
学生生徒等納付金収入	465,285,000	481,108,000	△ 15,823,000
手数料収入	25,119,000	25,989,000	△ 870,000
寄付金収入	36,533,000	11,016,000	25,517,000
補助金収入	323,519,000	360,223,000	△ 36,704,000
資産売却収入	0	0	0
* 付随事業・収益事業収入	32,630,000	780,000	31,850,000
受取利息・配当金収入	4,500,000	5,300,000	△ 800,000
* 雑収入	59,396,000	47,467,000	11,929,000
借入金等収入	0	0	0
* 前受金収入	58,620,000	52,910,000	5,710,000
* その他の収入	83,106,000	109,310,000	△ 26,204,000
* 資金収入調整勘定	△ 142,283,000	△ 105,066,000	△ 37,217,000
前年度繰越支払資金	314,646,000	171,839,000	142,807,000
収入の部合計	1,261,071,000	1,160,876,000	100,195,000

支出の部			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減
人件費支出	693,614,000	669,320,000	24,294,000
教員人件費支出	535,601,000	523,656,000	11,945,000
職員人件費支出	89,605,000	89,679,000	△ 74,000
役員報酬支出	10,000,000	9,500,000	500,000
* 退職金支出	58,408,000	46,485,000	11,923,000
教育研究経費支出	142,400,000	120,761,000	21,639,000
管理経費支出	26,078,000	26,270,000	△ 192,000
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
* 施設関係支出	50,000,000	109,091,000	△ 59,091,000
設備関係支出	7,724,000	4,994,000	2,730,000
資産運用支出	12,135,000	500,000	11,635,000
* その他の支出	60,107,000	27,510,000	32,597,000
〔予備費〕	30,000,000	35,000,000	△ 5,000,000
* 資金支出調整勘定	△ 64,823,000	△ 25,510,000	△ 39,313,000
翌年度繰越支払資金	303,836,000	192,940,000	110,896,000
支出の部合計	1,261,071,000	1,160,876,000	100,195,000

- * 付随事業・収益事業収入
- * 雑収入
- * 前受金収入
- * その他の収入
- * 資金収入調整勘定
- * 退職金支出
- * 施設関係支出
- * その他の支出
- * 資金支出調整勘定

- 短大 職安による受託費 含
- 退職金財団からの交付金 等
- 入金が見込まれる、来年度の為の値 等
- 入金が見込まれる、過年度の為の値 等
- 未収の予定値（マイナス計上）
- 退職予定の見込値
- 短大校舎 耐震 空調 等
- 支払が見込まれる、過年度の為の値 等
- 未払の予定値（マイナス計上）

事業活動収支予算書

平成29年 4月 1日 から
平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

	科 目	本年度予算額	前年度予算額	増減	
* 教育活動収入の部	事業活動収入の部				
	学生生徒等納付金	465,285,000	481,108,000	△ 15,823,000	
	手数料	25,119,000	25,989,000	△ 870,000	
	寄付金	36,533,000	-11,016,000	25,517,000	
	経常費等補助金	290,519,000	278,473,000	12,046,000	
	国庫補助金	39,772,000	33,000,000	6,772,000	
	地方公共団体補助金	250,747,000	245,473,000	5,274,000	
	付随事業収入	32,630,000	780,000	31,850,000	
	雑収入	59,396,000	47,467,000	11,929,000	
	教育活動収入計	909,482,000	844,833,000	64,649,000	
* 教育活動支出の部	事業活動支出の部				
	人件費	693,614,000	665,168,000	28,446,000	
	教育研究経費	142,400,000	210,761,000	△ 68,361,000	
	管理経費	26,078,000	29,970,000	△ 3,892,000	
	徴収不能額等	0	0	0	
	教育活動支出計	862,092,000	905,899,000	△ 43,807,000	
	教育活動収支差額	47,390,000	△ 61,066,000	108,456,000	
* 教育活動外収入の部	事業活動外収入の部				
	受取利息・配当金	4,500,000	5,300,000	△ 800,000	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	4,500,000	5,300,000	△ 800,000	
	* 教育活動外支出の部	事業活動外支出の部			
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	4,500,000	5,300,000	△ 800,000
		経常収支差額	51,890,000	△ 55,766,000	107,656,000
* 特別収入の部	事業活動特別収入の部				
	資産売却差額	0	0	0	
	その他の特別収入	33,000,000	81,750,000	△ 48,750,000	
	施設設備補助金	33,000,000	81,750,000	△ 48,750,000	
	特別収入計	33,000,000	81,750,000	△ 48,750,000	
	* 特別支出の部	事業活動特別支出の部			
		資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	0	0
		特別収支差額	33,000,000	81,750,000	△ 48,750,000
	〔予備費〕	30,000,000	35,000,000	△ 5,000,000	
	基本金組入前当年度収支差額	54,890,000	△ 9,016,000	63,906,000	
	基本金組入額合計	65,000,000	0	65,000,000	
	当年度収支差額	119,890,000	△ 9,016,000	128,906,000	
	前年度繰越収支差額	0	0	0	
	基本金取崩額	0	29,000,000	△ 29,000,000	
	翌年度繰越収支差額	119,890,000	19,984,000	99,906,000	
	(参考)				
	事業活動収入計	946,982,000	931,883,000	15,099,000	
	事業活動支出計	892,092,000	940,899,000	△ 48,807,000	

- * 事業活動収支予算書
- * 教育活動収支差額
- * 教育活動外収支差額
- * 経常収支差額
- * 特別収支差額
- * 基本金組入前当年度収支差額

当年度、活動区分別の、収支の内容
基本金組入後の均衡状態が保たれているか否かを示す
経常的な収支の内、本業である教育活動の状況
経常的な収支の内、財務活動の収支状況
経常的な収支の均衡
資産の売却や処分等の臨時的収支状況
毎年の収支の均衡、帰属収支差額